森坂 嵐さん長崎がんばらんば国体（ボクシング）応援レポート　2014/10/17(金)

10/16(木）、宮本さんが諫早農業高校第1体育館で優勝した瞬間と表彰式も目に焼き付けた後、森坂さんの準決勝のボクシング会場（雲仙市吾妻体育館）へ移動した。

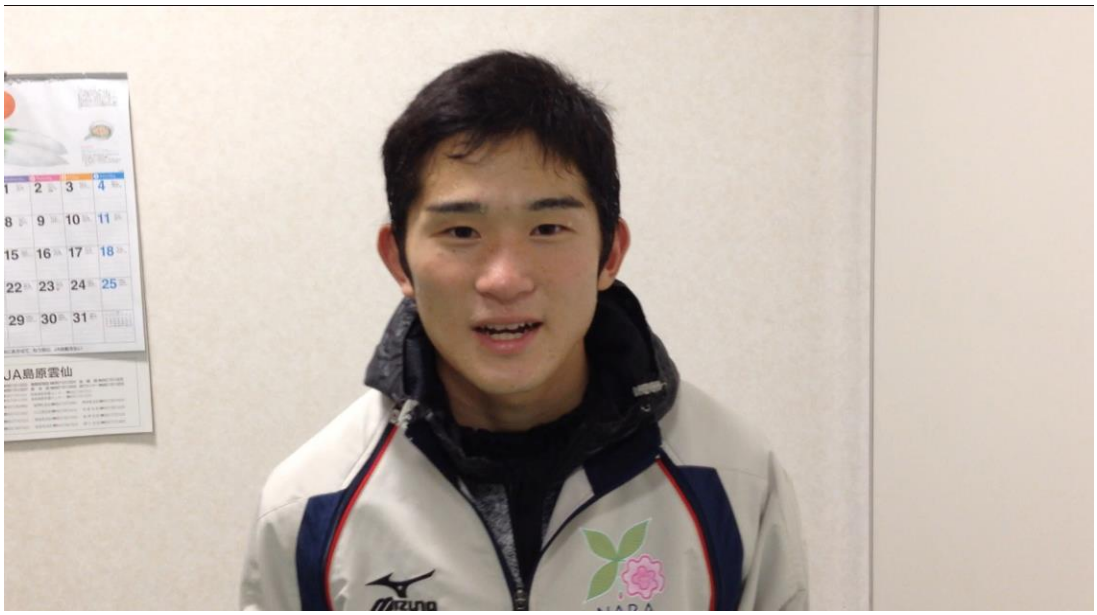
準決勝は終了していた頃だったので、会場到着後、結果表を急いで見に行くと、森坂さんの判定勝ち！！（３－０）、決勝進出決定。

少しでも森坂さんの顔を見ることができれば、と本部を訪ねると、日本ボクシング連盟　会長　山根さん、常務理事内海さんのご厚意で、試合直後の森坂さんと会うことができた。まだ試合後の汗が乾ききらず、熱さも残った中で、明日の決勝への意気込みを語ってくれた。（下の写真）

◆明日の決勝に向けての抱負は？◆

『今回の大会、今まで自分の思う動きができませんでしたが、決勝はしっかり調整して、体調も万全にして、自分の持てる力を全てだして優勝したいと思います。』

強い意思を感じるコメントに、既に優勝を確信した。



下の写真は山根会長のとなりで、ちょっと緊張気味の森坂　嵐さん

下の写真はボクシング会場を埋め尽くす「応援手作りの垂れ幕」～　いい感じ

いよいよ17日。決勝のゴング前、闘志をコントロールするようにストレッチする森坂さん（上の左）
ヘッドギアを確認して、ゴングを待つ態勢に入った（上の右）

バンタム級の体重制限は「52kg超過56kgまで」、ジュニアではピン級、ライトフライ級、フライ級の次のクラスである。山根会長曰く、「バンタムは強い選手が豊富にいるクラスで、競争も激しい。森坂はその中でも、ただ強いだけではなく、減量やハードトレーニングにも負けない精神力や人間力もある」

森坂さんは決勝戦までの3戦全て3-0の判定で勝ち上がってきた。

①2回戦　小田切　稜平さん（兵庫）　判定勝ち（３－０）
②準々決勝　神足　茂利さん（愛知）　判定勝ち（３－０）
③準決勝　尾崎　誠哉さん（長崎）　判定勝ち（３－０）

決勝戦のゴングが鳴った。1ラウンド。勢いにおされ、スリップではあるが、畠山 稜也さんの上半身が沈んだ。（下）

少年男子は2分3ラウンド、各ラウンド間には1分の休憩がある。完璧な素人判断だが、3ラウンドとも、双方打ち合っているが、森坂さんのパンチが少しタイミング早く当たっている印象、ガードもしつつキレのあるパンチがでていた。森坂さんも、畠山さんも必死に戦っていた。

そして、3ラウンドが終了。
判定の発表である。森坂さんの手が高々とあがる。やったね、おめでとう！宣言通りの優勝、素晴らしい。
岩手の畠山さんの背中で、勝負の残酷さを改めて知る。懸命に努力しても、負けを宣言、周知させられる。
それがまた、次の勝負へ駆り立てるのだろうか。

森坂さんは春の選抜大会、夏の全国高校総体に続いての優勝で3冠を達成！　改めて、おめでとう。

戦い終わって、健闘を称えあって、しっかり握手する二人。<「いいね！」>